

平成22年度実施施策に係るモニタリング

(文部科学省22-12-3)

施策目標	日本文化の発信及び国際文化交流の推進					
施策の概要	芸術文化振興、文化財保護等の分野における国際文化交流の取組を推進することにより、我が国の文化芸術活動の水準を向上し、文化を通じて国際社会に貢献し、諸外国との相互理解の推進を図る。					
達成目標及び測定指標	達成目標(1)	我が国の芸術家や芸術団体による海外公演・ワークショップや、海外の芸術家・芸術団体と我が国の芸術家・芸術団体とが共同制作公演・意見交換等によるネットワーク構築などを行うことにより、文化芸術振興及び国際文化交流を推進する。実施状況については、以下の2つの指標を用いて基準の結果の平均から判断することとする。				
	測定指標	基準値	実績値(進捗状況)		目標値	
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	文化交流使の指名数・派遣地域数	16・3	15・3	16・3	16・3	16・3
	国際芸術交流支援事業申請数	93	111	102	123	115
	年度ごとの目標値	/				
	達成目標(2)	損傷し、衰退し、消滅し、若しくは破壊され、又はそれらのおそれのある海外の文化遺産等に対して、我が国の高度な技術力等を生かした協力等を行うことにより、我が国の国際的地位の向上に資する。この効果を図るため、以下の2つの指標を用いて、基準の結果の平均から判断することとする。				
	測定指標	基準値	実績値(進捗状況)		目標値	
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	国際シンポジウムへの参加者数	200	321	200	230	250
文化遺産国際協カコンソーシアムへの参加者・参加機関数	148	169	226	278	300	
年度ごとの目標値	/					
施策の予算額・執行額等 上段:単独施策に対応する経費 下段:複数施策に対応する経費	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	
	予算の状況 (千円)	当初予算	2,707,794 <0>	2,178,004 <0>	2,655,702 <0>	3,430,008 <0>
		補正予算	△28,030 <0>	0 <0>	0 <0>	/
		繰越し等	0 <0>	0 <0>	/	/
		合計	2,679,764 <0>	2,178,004 <0>	/	/
執行額(千円)	2,431,104 <0>	1,910,110 <0>	/	/		
施策に関係する 内閣の重要政策	名称	年月日	関係部分(抜粋)			
有識者会議での指摘事項						

<p>指標に用いたデータ・資料等</p>	<p>1. 文化交流使指名数・派遣地域数 ※派遣地域数は、派遣国を下記3グループに分類し、文化交流使の活動地域の全体的バランスを示すもの。 地域イ: 欧州、北米(文化交流使事業での派遣実績も多く、文化交流の基盤が整っている地域) 地域ロ: アジア、大洋州 (文化交流使事業での派遣実績が比較的少ないが、地理的には文化交流の重要性が高い地域) 地域ハ: 中東、中南米、アフリカ(文化交流使事業による派遣実績が著しく少ない地域) (作成: 文化庁)(作成又は公表時期: 各年度末)(基準時点又は対象期間: 各年度末)(所在: 文化庁)</p> <p>2. 国際芸術交流支援事業申請数 (作成: 文化庁)(作成又は公表時期: 各年度末)(基準時点又は対象期間: 各年度末)(所在: 文化庁)</p> <p>3. 「国際シンポジウムの開催」国際シンポジウムは、コンソーシアムの普及・啓発活動として、一般市民に対して文化遺産国際協力の情報発信する場であり、講演・パネルディスカッション等を行う。 「文化遺産国際協力コンソーシアムへの参加者・参加機関数」コンソーシアムは、文化庁、外務省、大学・研究機関、民間助成団体などが一体となって連携協力し、文化遺産保護の国際協力を円滑に進めるために運営委員会、分科会を運営し、各機関のネットワーク構築や情報共有化を図る。 (作成: 文化遺産国際協力コンソーシアム)(作成又は公表時期: 各年度末) (基準時点又は対象期間: 各年度末)(所在: 文化遺産国際協力コンソーシアム)</p>
<p>主管課(課長名)</p>	<p>文化庁長官官房国際課(佐藤 透)</p>
<p>関係局課(課長名)</p>	<p>文化庁文化部芸術文化課(山崎 秀保)、文化庁文化財部伝統文化課(湊屋 治夫)、同部美術学芸課(栗原 祐司)、同部記念物課(矢野 和彦)、同部参事官(建造物担当)(村田 健一)</p>